

※「消えるボールペン」で記入しないでください。

婚姻届

平成 年 月 日届出

愛知県一宮市長殿

受理 平成 年 月 日 第 号	発送 平成 年 月 日					
送付 平成 年 月 日 第 号	愛知県一宮市長 印					
書類調査		戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票

記入の注意

黒のボールペンまたは黒のインキで書いてください。(消えるボールペンなどで書かないでください。)

この届は、あらかじめ用意して、結婚式をあげる日または同居を始める日に出すようにしてください。その日が日曜日や祝日でも届けることができます。(なお、この場合、宿日直室で取り扱うので前日までに戸籍担当係で下調べをしておいてください。)

夫になる人または妻になる人の本籍地に出すときは2通、そのほかのところに出すときは3通出してください。

(役場が相当と認めたときは、1通で足りることもあります。)

◎一宮市に出す場合、届書は1通でさしつかえありません。

この届書を本籍地でない役場に出すときは、戸籍謄本または戸籍全部事項証明書が必要ですから、あらかじめ用意してください。

届書中
字加入 字訂正 字消除

(1)	氏名	夫になる人		妻になる人	
	氏名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
(2)	生年月日	年 月 日		年 月 日	
	生年月日	<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 西暦	年 月 日	<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 西暦	年 月 日
(3)	住所	番地番 号		番地番 号	
	住所	番地番 号	番地番 号	番地番 号	番地番 号
(4)	本籍	番地番		番地番	
	本籍	番地番	番地番	番地番	番地番
(5)	父母の氏名 父母との続き柄	父	続き柄	父	続き柄
	父母の氏名 父母との続き柄	母	男	母	女
(6)	婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	新本籍 (左の☑の氏の人が入籍の筆頭者となっているときは書かないでください)			
	婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	<input type="checkbox"/> 夫の氏 <input type="checkbox"/> 妻の氏	番地番		
(7)	同居を始めたとき	年 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始め たときのうち早いほうを書いてください。)			
	同居を始めたとき	<input type="checkbox"/> 平成	年 月		
(8)	初婚・再婚の別	初婚 再婚 (☐死別 ☐離別 年 月 日)		初婚 再婚 (☐死別 ☐離別 年 月 日)	
	同居を始める 前の夫妻のそれぞれ の世帯のおもな仕事と 夫妻の職業	1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人 から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯 (日々または1年未満の契約の雇用者は5) 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 6. 仕事をしている者のいない世帯 (国勢調査の年の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください)			
(9)	その他				
	届出人署名押印	夫 印		妻 印	
事件簿番号					

証人	
署名押印	印
生年月日	年 月 日
住所	番地番 号
本籍	番地番

◎証人は、この婚姻を認めてくれる二十歳以上の方ならだれでもなれます。

◎届出人の印をご持参ください。

◎同じ氏の場合は、別の印を押してください。

◎婚姻により、氏が変わる方や市内間で住所を変更された方が、国民健康保険または国民年金の被保険者であるときは、国民健康保険証、国民年金手帳をご持参ください。

◎届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

住所を定めた年月日

夫	年 月 日
妻	年 月 日

記入の必要はありません

連絡先

電話 () 番
自宅・勤務先・携帯

平成 年 月 日
午前 午後 時 分受領
夫 免・旅・住 他()・未 不受理確認済 通知(要・不要)
妻 免・旅・住 他()・未 不受理確認済 通知(要・不要)
使者 免・旅・住 他()・未
通知 年 月 日